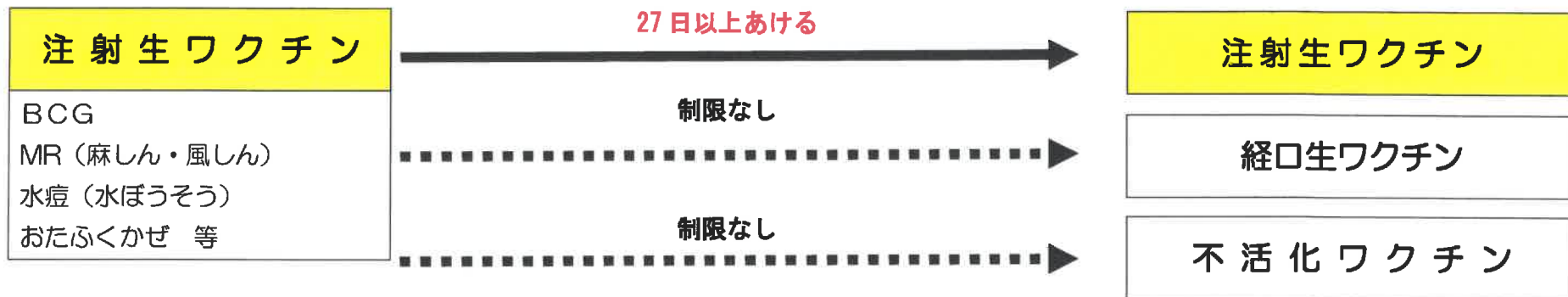


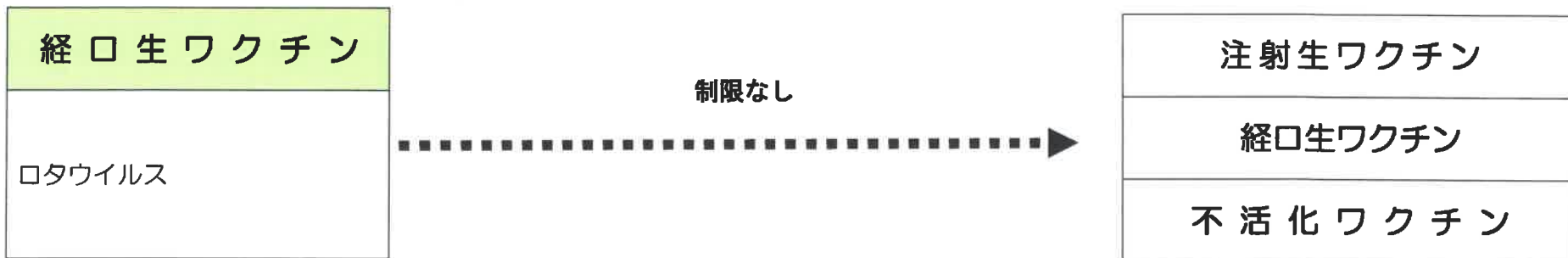
異なるワクチンを接種する際の接種間隔

令和2年10月1日から、異なるワクチンを接種する際の接種間隔が見直されました。

- 注射生ワクチン：注射生ワクチンを接種した日の翌日から起算して、注射生ワクチン接種を行う日までの間隔は、27日以上おく。



- 経口生ワクチン：間隔に関する規定はありません。



- 不活化ワクチン：間隔に関する規定はありません。



◎同一ワクチンを複数回接種する場合は、それぞれのワクチンに定められた接種間隔を守る必要があります。

◎特に医師が認めた場合、他のワクチンと同時に接種することができます。